

## 第12回横幹連合コンファレンス開催報告

倉橋 節也\*1 · 伊藤 誠\*2 · ベントン・キャロライン\*3

第12回横幹連合コンファレンスは、2021年12月18日(土)、19日(日)に筑波大学筑波キャンパス(茨城県つくば市)を拠点として開催されました(Fig. 1)。開催場所となった筑波大学は、1872年(明治5年)に東京の昌平黌(のちの湯島聖堂)跡地に創設された東京高等師範学校、そして1949年に開学した東京教育大学の移転を契機に、それらの伝統と特色を生かしながら、「開かれた大学」として1973年に筑波の地に新たに開学した総合大学です。「Imagine The Future.」を新たなブランドとして、2023年には創起151年、開学50年を迎える大学として、今回の横幹連合コンファレンスを開催できたことは、大変喜ばしいことでしたが、一方で新型コロナウイルス感染症の影響が世界中に暗い影を落とす時代での開催でもありました。このような中、今回のコンファレンスのテーマとして「『横幹知』で拓くポストコロナ社会」が選ばれたことは、まさに横幹連合が発足した理念である、「自然科学、人文・社会科学、工学などを横断的に統合することを通して異分野の融合を促し、それにより新しい社会的価値の創出をもたらす基盤学術体系」を用いて、文理にまたがる学会が、限りなくタテに細分化されつつある科学技術の現実の姿に対して、「横」の軸の重要性を訴えそれを強化するという、設立趣旨に沿うものとなりました。

今回の横幹連合コンファレンスは、実行委員長として、筑波大学副学長のベントン・キャロライン、現地実行委員長として、システム情報系の伊藤誠、同委員として、イリチュ(佐藤)美佳氏、鈴木研悟氏、プログラム委員長として、ビジネスサイエンス系の倉橋節也、同委員として木野泰伸氏、領家美奈氏という、文理融合の体制で準備実行がされました。コンファレンスでは、オーガナイズド・セッション14件、一般セッション1件が実施され、ポストコロナを主テーマとして、各セッションの時間を2時間の中で、合計72件の幅広いテーマの

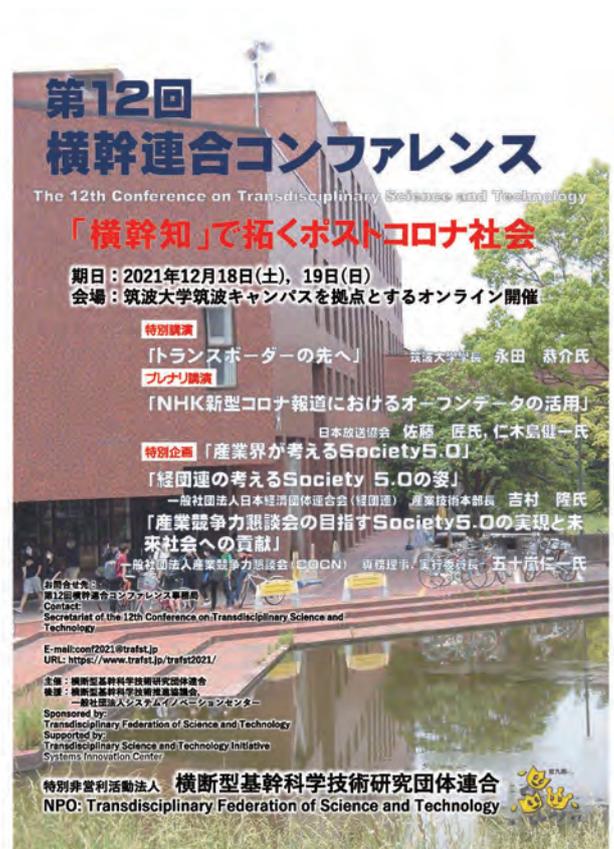


Fig. 1: 第12回横幹連合コンファレンスポスター

発表が行われました。参加者数は123名でした。セッション一覧は、Table 1をご覧ください。

初日に特別講演は、筑波大学学長 永田恭介氏から「トランスボーダーの先へ」をテーマとした講演をいただきました。講演の中で、大学教育や研究のあり方、国際比較など、幅広い視点から、日本の高等教育の現状と課題についてご紹介いただきました。また、翌日のプレナリ講演は、日本放送協会の佐藤匠氏、仁木島健一氏から「NHK 新型コロナ報道におけるオープンデータの活用」をテーマに講演をしていただき、OSINTと呼ばれる公開データを用いる新たな調査分析報道の手法につい

\*1 第12回横幹連合コンファレンスプログラム委員長・筑波大学

\*2 第12回横幹連合コンファレンス現地実行委員長・筑波大学

\*3 第12回横幹連合コンファレンス実行委員長・筑波大学

Table 1: オーガナイズド・セッション一覧

OS番号	OSテーマ	オーガナイザ	発表数
OS01	第4回コトつくり至宝発掘 ～コトつくりコレクションの選出～	川中孝章（東京大学）	3
OS02	「未来戦略デザイン・プロデューサー」の教育プログラム開発	新目真紀（職業能力開発総合大学校）	6
OS03	ポストコロナ社会における地域コミュニティと横幹知	遠藤薫（学習院大学）	5
OS04	計算社会科学と政治 - 分極化の問題に挑む -	水野貴之（国立情報学研究所）	6
OS05	ポストコロナ社会に計算社会科学はいかに貢献するか	遠藤薫（学習院大学）	6
OS06	企業経営・社会活動分析へのMATRIXアプローチと意思決定プロセス化の研究	大場允晶（日本大学）	5
OS07	地球観測によるコロナ・ポストコロナ時代での取り組みについて	祖父江真一（宇宙航空研究開発機構）	5
OS08	ポストコロナ禍に向けた新しい防災の模索	有馬昌宏（兵庫県立大学）	5
OS09	COVID-19感染の再発防止・未然防止へ向けて	鈴木和幸（電気通信大学）	3
OS10	AIMaP 企画：メタマテリアルの数理科学	萩原一郎（研究・知財戦略機構）	5
OS11	AI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築に向けて	貝原俊也（神戸大学），寺野隆雄（千葉商科大学）	4
OS12	移動体の自動運転・自動操縦の安全評価	伊藤誠（筑波大学）	3
OS13	テキストマイニングと質的研究法及び心理の量的研究	木野泰伸（筑波大学）	6
OS14	行政課題の解決及び国民の生活行動研究における大規模統計データの利活用	渡辺美智子（立正大学）	6
一般	一般セッション		4

ご紹介いただきました。そして、特別企画「産業界が考える Society 5.0」では、日本経済団体連合会（経団連）の吉村隆氏から「経団連の考える Society 5.0」、産業競争力懇談会（COCN）の五十嵐仁一氏から「産業競争力懇談会の目指す Society 5.0 の実現と未来社会への貢献」をテーマに特別企画講演を行なっていただき、Society 5.0 が産業界においても最重要なテーマとなっていることをご紹介いただきました。

残念ながらコロナ禍のもと、懇親会は開催できませんでしたが、次回第13回コンファレンスは早稲田大学で開催されることがアナウンスされ、第12回横幹連合コンファレンスは無事終了することが出来ました。発表・参加いただいた皆さま、投稿受付やオンライン環境を準備いただいた事務局スタッフの皆さま、学生アルバイトの皆さん、そして実行委員の皆さまに厚くお礼申し上げます。